

平成30年度 第1回築上町総合教育会議 会議録

1 日 時 平成30年4月27日(金) 午後4時00分開会

2 場 所 築上町役場 第一会議室

3 主席者

(構成員) 築上町長 新川 久三

教育委員会

教育長職務代理者 中村 ひろ子

委員 永井 和美

委員 麥田 猛美

委員 折本 美佐子

教育長 亀田 俊隆

(構成員以外の出席者)

元島総務課長、鍛冶学校教育課長、古市生涯学習課長、高尾生涯学習課長補佐
則松学校教育係長、中原学校管理係長、尾崎指導主事

(傍聴者) な し

午後4時00分開会

※読みやすくするため、発言の趣旨を損なわない範囲で、重複表現、言い回しなどを整理しています。

4 会議内容

(1) 開会

○学校教育課長(鍛冶 孝広君)

みなさん、こんにちは。それでは、定刻になりましたので只今から平成30年度 第1回築上町総合教育会議を開催いたします。

私は、本日の進行を努めます学校教育課長の鍛冶でございます。よろしく申し上げます。

会議の前に、今年度は、教育委員さんが2名改選されておりますので、出席者の自己紹介をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

【構成員、構成委以外の出席者、それぞれ自己紹介】

(2) 町長あいさつ

○学校教育課長（鍛冶 孝広君）

どうぞよろしくお願ひいたします。それでは、2点目の町長挨拶でございます。新川町長、お願ひいたします。

○町長（新川 久三君）

皆さん、こんにちは。時間がちょっと午後の遅くに、招集させていただきました。私も今日は朝から色々行事があつて、先ほどは、人権擁護委員の行橋法務局管内の総会ということで、挨拶をしてとんぼ返りで帰ってきました。本来なら終了後の懇親会にも出るんですけど、今日は、皆さん方との歓送迎会もありますので楽しみにして帰ってきました。

そういうことで、すっかりもう青葉が、若葉からもう大体黒くなりつつあります。もう本当に夏を感じさせる今日この頃でございますけれど、今日は本年度、第1回目の築上町総合教育会議ということで皆さん御足労していただきました。ありがとうございます。

基本的には、皆さん方に教育委員会で方針を出していただいておりますので、その方針で行っていただければ良いんですけど、私が今までずっと言ってきましたのは、いわゆる小規模校を切捨てないということで、ただし、10人未満になったら統合の話を進めますよということで、私は椎田町長に就任してからずっともう16年間、この方針で参りました。それには、予算を伴うということですが、教育の予算には糸目をつけない、逆に少々経費が掛かってもということで、この度の築城中学校建替えにつきましても、そういう形で一応建替えて、議会のほうからは統合、椎田中学校と築城中学校を統合という話がございましたけれども、教育というのは、お金を節約する場では無いというようなことで、いわゆる教育はやっぱり大事な子供たちを育てる場であつて、そして歴史・文化が、それぞれの学校にあつて、出来るだけこれを存続させることを基本的にはやっていかなきゃいかんというのが、今の町の方針ということで、それを主張してきました。そのことで、議会と意見が分かれまして、最終的には、関係者の皆さんのアンケートを取ろうということで、子供を持つ世帯の皆さんにアンケートを取ったところ、確か81%ぐらいが両校をそのまま残してほしいというのが、住民の皆さんの回答でございました。これは、私がアンケートの前に皆さんに聞いたら、やっぱり残してほしいという意見が強かったので、そういう形になったと思います。議員の方には、財政的に助かるじゃないかという言い方をする方も

おられましたけど、私は、基本的には、教育にはお金を惜しまない、そういう方向で行くという
ようなことで、さりとて、やっぱり節約する所はしてもらわなければいけませんけど。

そしてやっぱり子供が宝でございます、築上町にはですね。そして、やっぱり築上町に残れる
ようにするというので、施策の中でも働く場所を作らないかんということでやってきましたが、
なかなか企業がこっちを向いてくれない、築上町の色々な諸事情を考えて、来てくれないという
事情もございました。しかし、ようやくジョイフルさんに来ていただいて、見本を示していただ
いております。そういう形の中で、ジョイフルさんが、あそこの町に行ったら良いよという宣伝
をしてもらうような体制づくりが出来れば良いのかなと思っています。そういうことで、基本的
には真面目な町づくりというのが一番であると、私は思っています。

今、町内の子供さんを見たら、非常に、規則を守っていますよね、ヘルメットをしっかり被っ
てますよね。部活の時でもしっかり被って登下校してるし、以前なら部活の時、土日はほとんど
被って無かったと思うんですが、今は、きれいに皆さん、ヘルメットを被って登下校してますね。
すばらしいなと私は今、感じておるところでございます。

あと、自分で判断できる子供たちが育っていただければ良いかな、色々な面で自分なりの判断
をして、しっかり良い判断をやっていただくというか、そういう子供たちに育ってもらえればと
思っています。学業も大事ですけど、やっぱり人間性を一番に育ってもらうという、これがやっ
ぱり大事じゃないかなと思っています。

ちょっと挨拶の中で踏み込んだ形になりましたけれど、そういうことで、教育委員会の皆さん
と予算の面については皆さんの計画どおり、私はつけたいと思いますので、色々な計画があれば
ぜひ申し出ていただければ、財政のほうと協議しながら、予算配分をしていきたいとこのように
考えておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

それと、あと2人の新しい教育委員さん、よろしくお願ひ申し上げます。

(3) 報告事項

○学校教育の取組について

○学校教育課長（鍛治 孝広君）

ありがとうございました。それでは、次の報告事項に入りたいと思います。

報告事項につきましては2点ほどございます。学校教育と社会教育について。本年度の主な取
り組みについてということで、説明をさせていただきたいというふうに思っております。

まず、学校教育の取り組みについてでございますが、基本的には本日、お配りをしております
築上町の教育行政方針に沿った施策を実施をするということになります。

この教育行政方針につきましては、教育委員会会議で御議論をいただきまして、承認をいただ
いたというものでございます。時間の関係もありますので、今年度の主な取り組みについて報告

をさせていただきます。

まず1点目でございますが、資料の4ページをお願いいたします。

1. 学力向上のための取り組みの推進といたしまして、今年度も③の築上塾、土曜講座を実施いたします。築上塾につきましては、平成28年度から実施をしております、今年度で3年目ということになります。受講した児童生徒には大変評判がよく、内容等一昨年、昨年と比べますと少しずつ充実をしてきているというところがございますので、今年度も実施をして学力向上に繋がりたいというふうに考えてございます。

それから次に、2. 個性や能力を伸ばす教育の充実ということでございますが、①記載をしております県加配教員、それから町雇用教員を活用した少人数指導、それから習熟度別指導の推進ということで、これも今までずっとやってきていることでございますが、今年度も引き続きそれぞれの教員を活用いたしまして、少人数指導、それから習熟度別の指導、あるいは理解に時間を要する児童生徒への対応ということで、チームティーチングの実施など、指導体制の工夫、それから改善を行っていききたいというふうに考えてございます。

それから、次の5ページでございます。

7. 家庭地域の教育力を高める支援体制の充実ということで、①のコミュニティースクールの関係でございます。昨年度からコミュニティースクール、スタートいたしまして今年度が2年目ということになりますので、学校関係者、それから地域の方々と連携をして、さらなる推進を図っていききたいというふうに思っております。今年度は7月に町内の全ての教職員を対象にしたコミュニティースクール研修会、教職員対象の研修会を実施をしたいというふうに考えています。

それから、その下の8ですね、安心・安全な学校づくりの推進ということで、今年度は新しく建築をいたしました築城中学校の残りの工事、今現在、仮設校舎の解体等実施をしておりますが、それが終わった後に、今、テニスコートが仮設のテニスコートということになっておりますので、テニスコートの復旧工事等、防球ネットの復旧工事等、少し工事が残っておりますので、その工事の実施。それから建替えの対象となっております八津田小学校につきましては、今年度、関係者による「建替検討委員会」というのを設置をしながら、建替えに向け準備を行いたいというふうに考えてございます。

学校教育につきましては、主な内容としては、以上でございます。

それと、資料の10ページに今年度の教育委員会、それから学校教育課事務局一覧ということと、その下に、小学校・中学校の一覧ということで各学校の校長、教頭、それから児童生徒数ですね、それから学級数等を記載した一覧をつけております。

また、11ページ以降に総合教育会議の設置要綱を添付しております。後ほど御確認をいただければというふうに思っております。

それでは、続いて、社会教育について生涯学習課長のほうから説明をさせていただきます。

○社会教育の取組について

○生涯学習課長（古市 照雄君）

続きまして、社会教育について説明をしたいと思います。6ページをお願いします。

6ページには、社会教育、生涯学習課の重点施策、今年度の取り組みを載せております。主に（2）ですけれども、地域の教育力の向上ということで、社会教育全てに応じて、そのライフステージに応じた生涯学習の振興ということを掲げております。

続きまして、⑤です。町民一人ひとりが主体的にスポーツをする・見る・支えるというところを今回、重点施策として新たに追加をしております。スポーツも含めて社会教育全体が、実際に行う・見る・支えるというこの三本柱で行っていききたいというふうに考えております。

そして⑧ですけれども、社会教育各種事業、こちらについては全ての事業において小学校、中学校に提案、提供という形で学校との連携を図っていくと、この目的として、目標にも掲げております郷土を愛する子供たち、社会教育ならではの、築上町ならではの出来ることとありますので、こちらを学校、小中学生等に提供、提案するという事で築上町らしさがある、築上町を好きになるということを目的に、築上町で行える提供をしていきたいと考えております。

そして、続いて⑨です。こちらは障害者スポーツということで今現在、取り組みを進めております。スポーツ庁のほうに障害者スポーツのほうに移管されまして、本町においてもこの取り組みを行っております。まだ、他市町村ではなかなかこの取り組みは行っていないのが現状ですけれども、本町においては3年前からもう既に取り組みを行いまして、場所の提供ということテーマに行っております。スポーツが出来る場の提供ということで、誰もが支え合う共生社会ということを目指していきたいと思っております。

⑩で、オリンピックのキャンプ地誘致を契機とした多様な事業展開ということで、昨年、12月にオセアニアとキャンプ地の調印を締結することが出来ました。それに伴いまして、2020年東京で行われるオリンピックに向けたオセアニアとの交流を進めてまいります。スポーツを契機としてさまざまな事業、生涯学習社会教育であり、英語学習であり、多面的な事業展開を目指していきたいと思っております。

続いて、（3）の文化財の保護及び歴史観光ということで、③で、旧蔵内邸等国指定名勝の旧蔵内氏庭園及び国指定史跡の船迫釜跡群の管理を推進しながらこちらのほうもPR推進をしていきたいと思っております。

④で国指定重要無形文化財の豊前神楽、こちらは全て7団体が加盟しておりますので、これも広く周知をして発信をしていきたいと思っております。

続きまして、今年度の取り組みということで、主に④、1の（1）の④です。学校との連携、

先ほども申し上げましたが、重点施策にも入っております学校に提供・提案するというので、こちらの社会教育から出来るものを今年度も提案していきたいと思います。昨年実施した一番下のところですけども、車椅子バスケットを中学校で実施しました。これは、授業で行うんですけども、中学校で開催することにより、中学生が今後、自分の進路の選択肢として福祉団体であったり、障害者スポーツであったりということ視野に入れるということで、中学校で開催をしております。

続いて（２）ですけども、オリンピックキャンプ地活動の推進ということで、以下の点を今年度行っていきたいと思います。

８ページをお願いします。８ページの⑧です。ブックスタート、図書館事業につきましては、ブックスタート事業を今現在行っておりますけども、こちらのボランティア協力のもと、継続的に、またボランティアの方の研修も含めて事業を行っていきたいと考えております。

社会教育生涯学習課については、以上です。

○学校教育課（鍛治 孝広君）

それでは、今、学校教育、それから社会教育ですね、それぞれ報告をさせていただきました。何か御質問等ございましたらお願いいたします。

○教育委員（中村 ひろ子君）

とってもポイントを押さえられて、学校教育も社会教育も分かりやすく説明していただいたんですけども、重点施策というか、それぞれポイント等がホームページのほうに記載されているかと思います。ですけども、その環境のない家庭というのも半数以上あるんじゃないかなというふうに思いますので、これをやはり広報等で町民の皆さんに知っていただくということもされたらどうかなというふうに思いました。

それは、私が思ったことで、何かそういう形を考えられているかどうかということをおちょっと教えてください。

○学校教育課長（鍛治 孝広君）

今のところはそこまでは考えておりませんでした。その点については、今後、検討させていただきます。

○町長（新川 久三君）

委員会で結論出せば、出来ますよね。委員会のほうで検討してください。別に問題ないでしょう。出し方も色々工夫してください。

○学校教育課長（鍛治 孝広君）

周知の仕方については色々検討していきたいと思います。その他には、ありませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり。】

(4) その他

○意見交換「築上町教育行政について」

○学校教育課長（鍛治 孝広君）

それでは、次の意見交換に移りたいと思います。意見交換につきましては、皆さんで自由に意見交換をしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○町長（新川 久三君）

5ページの「鍛えよう！」分かるけど、「ほめよう！」で「鍛ほめ」というの、これは。

○教育長（亀田 俊隆君）

これは県のほうで、鍛えて、褒めてということで、省略してですね。「鍛ほめ」と読みます。

○町長（新川 久三君）

「鍛^{たん}」ではなくて、「鍛^{きた}」で良いんですね。分かりました。

○教育長（亀田 俊隆君）

そうです、「鍛^{きた}ほめ」です。読みやすいからそうしたんでしょうね。鍛えて褒めてです。

○町長（新川 久三君）

コミュニティースクールについて、皆さん、感想というのがありますか。一年間やってみてどんな感じですか。中村委員と永井委員。

○教育委員（中村 ひろ子君）

学校の中に私たちも入っていないですし、学校での推進状況というのがあまりよくまだ理解できていない状況です。こういうことでやりますっていうのは出ていますが、それを見せていただいた時に、まだまだ十分に理解出来ていない部分があって、推進しているのかなというのを一番感じてます。

事務局のほうも2回研修持っていただいて、また今度、教職員対象に研修を持ちますっていうことで先ほどお話がありましたけども、まずコミュニティースクールとはどういうものかっていうことを理解した上でやっていくのが良いのかなと。それで地域の力をどういうふうにかせるのか、学校が願うっていう形、地域に願うっていう形じゃなくて、両方で創っていくっていう、その参画の姿っていうのをこれからはやっていかなきゃいけないことじゃないかなというふうに、私は感じてます。

○教育委員（永井 和美君）

全体的に見て、基本的なところは分かっているのかなとは思いますが。一応、私は葛城出身なので、葛城小学校でコミュニティースクールを立ち上げる前にやったことと、コミュニティースクールを立ち上げた後にやったことというのは、まずあまりほとんど変わってない状態なんで、もう少し理解が深まるようになれば、内容も濃く出来るんじゃないかなというのは実感しました。

多分、他の学校もそんな感じじゃないかなと思います。

○町長（新川 久三君）

まだ学校評議員の域を脱していないということですね、基本的には。あんまり委員さんからの提案は無いのかもしれませんがね。基本的には校長の提案に対して議決権持ってるわけですよ。それが1つ違うと思うんですよ。今までは、ただ応援団という形。校長、もうちょっとこれを変えて、こういうふうにやろうという、そういう1つの提案権を委員さんは持つてると思うんですよ。

今まで小規模校のほうがやっぱりそれは昔から変わらないで、それをやってたと思うんですよ。逆に、大規模校のほうが学校主体で、保護者とかそういう委員さん、地域のあまり手伝いが無い形で行われていたんじゃないかなと。色んな行事あたりは自治会、それから民生委員さんにはお願いしておったんですけども。だから委員さんも、私の感覚では、それぞれ学校によって考え方に差があって、よくやっているところと、まだまだちょっといまいちかなという、そういう学校があるんじゃないかなと思うんで、これができるだけ同じレベルに引き上げてもらうようにやっていかないかなのが1つの課題かなと思ってるんですけどね。教育長、どうですか。

○教育長（亀田 俊隆君）

そうですね。今、やっぱりコミュニティースクールで非常に活発にしてもらってるのは、やっぱり、永井委員さんが言われたように、今まで地域と学校が連携が良く出来て、地域行事と学校とがうまくこう結びついてるところがやっぱり活発にやってもらっているように思いますね。他のちょっと規模の大きな学校のほうは、その点、やっぱりまだこれからかなというような気がします。

ただ、1年、やっと1年たったところですので、従来の行事と変わらないのはちょっと止むを得ないかなというふうに私は考えています。今後、今年度からは去年度の経験を踏まえて、そういう今までの従来の行事に本来のコミュニティースクールの双方向の学校と地域がお互いに矢印が双方向に行く、子供たちが地域の色々なところに出ていく、あるいは地域の方が学校に色々な形で支援していただく、そういうのをこれから、もうちょっと浸透していかないといけないと思うんですよ。今までやってきていただいたところも、さらにもっと濃い内容がこれから期待出来るし、昨年度はまだまだ、そういうものかなと理解していただいた程度だと思うので、今後、規模の大きな学校、特に中学校ですね、中学校などがこれからそういう方面をまだこれからも良い方向に、もっと活発な方向に持っていかないといけないかなと思っています。

○町長（新川 久三君）

そうですね。あと、委員さん、新しくなって、こういうのを考えてあるとかいうのはないですか。

○教育委員（麥田 猛美君）

新しくなるといよりも、私もコミュニティ・スクールの委員でした。

○町長（新川 久三君）

そうですね。他の面も含めてね。

○教育委員（麥田 猛美君）

感じているのは、やはり啓発の遅れです。今まで、色々とコミュニティ・スクール、取り組まれているんですけど、いわゆる教職員レベルまでなかなか浸透していないんですよね。特定の人には理解されてるけど、全体的に盛り上がっていない。だから、それがさっき言われてたけど、今度7月に掲げてる研修会、これが大事だと思うんですよ。それから、教職員が終わったら、次の段階ということで、対象を変えて啓発を進めていかないと、定着しないなというふうに思っています。両方が理解してもらうのに教員だけが突っ走ってもいけないしということで。突っ走るような形に持っていくと、多忙感だけが残るんですよ。また色んな仕事持ってきてということで、意欲がなかなか繋がらないので、その辺をうまくバランスとりながら、啓発も進めていくことが大事だと思います。

○町長（新川 久三君）

教師のほうはあんまり反発ないですかね。コミュニティスクールに対して。

○教育委員（麥田 猛美君）

それは、無いと思いますけどね。

○教育長（亀田 俊隆君）

先生方は、色々な方が私のところに来ますけれども、コミュニティスクールについてはどうということはないですね。

○教育委員（麥田 猛美君）

それともう一点言って良いですか。去年は始まったばかりで、今年は2年目なので、2年目はどこまで到達して3年目はどこまでと。少し長いスパンで見ると、5年ぐらいで形が出来るとか、そういう長いスパンが見えないですね。

○町長（新川 久三君）

目標設定しないとということですね。

○教育委員（麥田 猛美君）

そうですね。その辺をきちんとしていけば、自然と浸透していくのではなかろうかと思えますけど。まず啓発と計画がうまく伝わればですね。悪いことをしようとしてるわけじゃないわけですから、反対もないと思います。

○町長（新川 久三君）

子供たちは地域ぐるみで育てていこうという、これがコミュニティースクールの文科省が推進しているところだろうし、私もいち早くこれ、取り組みましょうということで、教育長に言ったんですが、教育長はモデル校からということと言われてましたけど、私は一斉に、上毛町がモデル校からやってるわけですが、モデル校からということで作るよりは、もう一斉にやらないと意味が無いということで、始めたわけです。少し差は出てきてるかなと思いますが、小規模校のほうがやっぱり小原小とか、上城井小とか、小規模のほうが地域ぐるみに、色々な学校の運営に参加してるのは間違いないですね。

○教育長（亀田 俊隆君）

そうですね。

○町長（新川 久三君）

しかし、中規模校、八津田小とかも割と地域の皆さんが協力してくれてますね。

○教育長（亀田 俊隆君）

そうですね。だんだんですね。

○町長（新川 久三君）

朝の見守りあたりもね。自治会長を辞めた人たちも出てくれてますね。

○教育長（亀田 俊隆君）

そうですね。最近、3人は行って来てますね。

○町長（新川 久三君）

それと、他にもそうでしょうけど、築城中学校は青少年育成会議の皆さんが頑張ってくれてますね。

○教育長（亀田 俊隆君）

築城中も登校時に見守りをさせていただいてますね。

○町長（新川 久三君）

本当、最近の中学生は、椎田中も築城中も本当にルールをよく守ってると思います。やっぱり基本はルールを守ることが大事だろうと思いますね。

○教育長（亀田 俊隆君）

そうですね、今、よく守ってますね。本当、中学校の子供たちがそういうルールを守るのも、やっぱり地域の人たちが色々な形でこう、学校をやっぱり見てくれて、子供たちに色々な形で声かけてくれたり、あれがやっぱり良い影響だと本当に思います。それがコミュニティースクールをやる大きな目標じゃないかなと思うんですけど。ルールだけじゃないですけどね、もちろん。勉強にしても、運動にしても、励みになる。

○町長（新川 久三君）

あとは社会教育のほうを皆さん、担当課に色んな注文をつけていただきたいと思います。私は金唐革紙をもっと産業化出来るようにお願いをしているんですけどね。

○教育長（亀田 俊隆君）

社会教育は小学校とか中学校の子供たちの参加というのが、さっき言われたけど課題で、大人の人たちは本当に色んな団体がいっぱいありますからね。

○町長（新川 久三君）

地域の歴史を勉強する総合時間があっても私は良いんじゃないかなと思うんですよ。そうすれば生涯学習課の出番も増えると思うんだけどね。出前教育なんか。

○生涯学習課補佐（高尾 栄一君）

はい。少しずつ定着してきています。椎田小学校とか、各学校が釜跡公園に見学に来ていただいたりとか。

○教育長（亀田 俊隆君）

見学はよくされてますよね、小学校は。

○生涯学習課長補佐（高尾 栄一君）

はい。見学に来ていただくパターンと、一緒にバスで色んなところに行くパターンがあります。

○町長（新川 久三君）

液肥の関係は、環境学習を今でもやってるのかな。ちょっと今、把握はしてませんけどね。前は出前教育で職員が、循環型農業の説明や話をしながら実際に稲作づくりをして、それで学校給食と一緒に食べていたんですよ。

それで、地産地消ということで、米飯給食を週5日にしたという経緯がある。パンを止めるのは苦労しました。色々言われましたが、パンは家で食べさせて下さいって私は言っていました。御飯だけやなくて、パンの時も作って下さいとか、液肥で作った米は汚い米だと。そういうイメージがあるわけで、し尿で作ったのは汚いので、そんなものは食べなさんな、と子供に言ってね。弁当を自分で作って持ってくる場所もあった。

私は、それは違いますよ、それは偏見で、完全に大腸菌とか寄生虫卵は全て死滅をして、昔は生のままやっていたから、それを人間が食べて成長を阻害するような形になってたんで、今は全部違いますよと。排せつ物の肥料というのは、これは神代の昔から続いてきた農業ですよと。それは生でやるから悪かったんで、それを発酵させてやれば発酵熱という形で寄生虫卵は全部、それから大腸菌や他の菌も全部、55度から60度くらいで発酵するから死んでしまうんですよ。だから、こういうのも子供にちゃんと理解してもらえれば、やっぱり良いんじゃないかなと。そうすれば築上町の一つの地場産のおコメということで、宣伝材料になってきますよね。

あと、何かございませんかね。職員からでも良いよ。

では、築城中学校も出来上がったんで、次は学校施設という形で八津田小学校を、そして椎田中学校と、その前にまず庁舎建設がありますが、八津田小学校は並行した形で担当課のほうで計画しているようですね。出来れば早目に、建てられるようにと思っています。この前、防衛省には基地の一番近くの学校で、防衛省予算で補助してくれれば助かりますと、いわゆる耐力度が無くてもやってほしいと、陳情をしてきましたし、また、福岡の九州防衛局にも、たまたま表敬訪問に行ったおりに、お願いをしてきました。八津田小学校は、基地の一番近くの学校ですからね。ということで、あとまだ、時間があるようですが、他にはないですか。

○生涯学習課長（古市 照雄君）

いいですか。今回、この中にも入ってるんですけど、今、オリンピックの関係になるんですけども、オリンピックキャンプがオセアニア地域ということで、相手、オセアニアというのは英語圏になります。今、考えているのは、英語圏ということもあり、小学校であったり、中学校というのは今回、3月からトライアルキャンプで2週間ほど来たんですけども、その時、交流ということで築城小学校と椎田中学校に行きました。その中で、外国人ということで、小学生は比較的やっぱりこう、馴染みというか、結構興味があつて、すごくすぐにフレンドリーな関係にはなるんですけども、中学生っていうのはやはりちょうど思春期ということもあるかも分かりませんが、なかなか溶け込みにくいところがありまして、給食だけしか、食事をとったということなんですけども、その中で外国人慣れというか、外国人を近くで見たりとか、話したりというのがないので、今後、またこのキャンプを契機に学校とかそういったところに行って慣れたりとかいうのも1つでしょうし、耳から直接聞くっていうのもそうでしょうし、これは学校教育だけではなくて、社会教育全てで70歳からの英会話教室とか良いのかなと思ってます。

今、住民課のほうで健康サロンということで、各公民館であったり、学供施設というのを回ってるんですけど、その中で、国際交流事業も着手したいなと思って、企画課と今、協議してるんですけども、国際交流員とか来た場合、70歳からの英会話教室とか、体を鍛えることとかは、日頃からサロンではやってるんですけども、それではなくて、今度、脳トレというか、頭を使いながら体も使い、頭も使ってというところも、このオリンピックキャンプを契機ということで、やっていきたいなとは考えてます。

○町長（新川 久三君）

良いですね。やりましょう。それと、ひとつお願いしたいのが、中国からの訪問団が8月の2日にこちらに来るようになってます。出来れば、築城小学校と椎田小学校、2校とも出校日にしてもらえたら良いなと思うんですけど。どうでしょう。やっぱり、休みのところに来るよりも、全校生徒が出校してるほうが良いと思うんですよ。それと、訪中をする団員を早めに決めて、そこで交流をするというのも良いかなと思うんですよね。その辺は、どうかな。

○教育長（亀田 俊隆君）

はい。そこは、学校と協議をしてみます。それと訪問団の募集については、検討させて下さい。

○町長（新川 久三君）

まあ、出来れば事前の交流というのもあっても良いと思うし、そしたら、また訪問した時に親近感が沸くというか、良いと思うんで、検討してみてください。

では、他はよろしいですかね。生涯学習課、中津街道の件はどうなってる。

○生涯学習課長補佐（高尾 栄一君）

【中津街道パンフレットを配布】

江戸時代初期の小倉の細川藩の頃に、小倉から中津までの道路を整備して、通称「中津街道」と言いまして、本来は「中津往来」とか言っていたみたいですけど、築上町は、ちょうど延塚記念館の前とか、それから椎田中学校付近に街道の後が残ってしまして、石碑とか道標が残っていません。特に湊地区には古い町並みが、江戸時代の建物が3件、明治時代の建物が10件くらい残っていますけれど、段々寂れてきているんですけど、どうにか町並みの保存をしていこうということで、本年度、この中津街道をPRしていこうということで、活用推進委員会を設置しまして、こういったPRの仕方、サインとかを検討していきたいと思っております。

また、中津街道は、他の自治体、中津市から北九州市までございますので、特に京築管内、豊前市とか行橋市とかと連携しながら、また、民間団体で検証している団体もございますので、横の連携を取りながら、今後、PRに取り組んでいきたいと考えています。

○町長（新川 久三君）

はい、「中津街道」ということで、これを町づくりの素材にしていこうということで、議会からの提案もありまして、やっしていこうということになっています。

それでは、他に何かありませんか。よろしいですかね。では、事務局、お願いします。

○学校教育課長（鍛冶 孝広君）

はい、他に無いようでございますので、これで第1回築上町総合教育会議を閉会させていただきます。

皆様、お疲れさまでした。

午後4時58分閉会